

2017年度 日本文化体験講座 実施報告

日本台湾交流協会台北事務所

日本語専門家 藤島夕紀代

1. 日時:2018年3月3日(土)13:00~17:00
2. 場所:日本台湾交流協会台北事務所 地下1階文化ホール
3. テーマ:日本の着物文化と浴衣の着付け体験

4. 概要紹介

学生さんに日本の着物文化について質問されて困ったことはありませんか、また、自分で浴衣を着る機会や学校行事で浴衣の着付けを頼まれたりすることはありませんか、という問いかけのもとにこの講座の前半では、クイズ形式で日本の着物文化、特に TPO に応じた装いの違いについて学びました。後半は、自分で着る着付けと人に着せる着付けを体験し、振袖の帯結びの実演もしました。

5. 具体的な内容

(1) クイズで学ぶ日本の着物文化

最初にグループに分かれて着物文化に関するクイズを出しました。クイズは、「黒い着物を着るのは、お葬式だけと決まっている」「小紋という着物は、習い事やコンサートなどに着ていける気軽な着物である」などを○か×で解答する問題や、帯の長さや着物の組み合わせ、場面と着物の組み合わせなどを出題し、皆さん悩みながらも、話し合っって答えを出していました。

(2)クイズの答え合わせと解説、帯結び実演

続いて、クイズの答え合わせと解説、帯結びの実演を行いました。今回は振袖に立て矢結びという帯結びをしましたが、ひだを何枚も作る豪華な帯結びに皆さん興味津々な様子でした。

(3)自分で着る浴衣の着付けと帯結び

ここからは、自分で浴衣を着る時間となりました。最初に PPT で浴衣の着付けと帯結びの流れを見てから、実際に着る体験をしましたので、スムーズに着られているようでした。着付け体験の後は、写真撮影を行いました。

(4)他人に着る浴衣の着付けと帯結び

学校行事などで学生や生徒に浴衣の着付けをする機会も多いということで、二人一組でお互いに浴衣を着せ合う体験をしました。最初はとまどいながらも、きれいな着付けになるよう、二人で協

力している様子が大変印象的でした。

(5) 浴衣のたたみ方

最後は、浴衣のたたみ方を実習しました。浴衣や着物は正しくきれいにたためば、しわにならずに、持ち運びや保管も楽にできるので、その方法を学んでいただきました。

6. 所感

今回の参加者は、いつも研修会に参加してくださる先生が多かったので、和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で講座を進めることができました。いつもより長い4時間という講座の時間でしたが、皆様のご協力のおかげで、自分で着る着付けから人に着せる着付け、浴衣のたたみ方まで、一通り体験していただくことができました。この経験をぜひ今後の日本語教育に活かしていただければと思います。ご参加いただいた先生方、ありがとうございました！

以上